



Join us!!をご覧の皆様こんにちは。バス・トロンボーン丸田和輝です。早いもので2025年も残り半月となりました。皆様にとって今年はどうな1年だったでしょうか？中部フィルにとって、そして私個人にとっても大きな出来事があった2025年でしたが、日々元気に過ごせる事が何よりありがたく、演奏後にお客様から頂くあたたかい拍手や、ステージ場でお互い讃え合える時間は幸せだなと最近改めて感じています。

さて、雪が積もる北海道での写真を前回掲載していたホルンの舟橋さんからパスを受けましたので、私は氷にまつわる話をしたいと思います。

ここ10年、趣味としてフィギュアスケートを習っています。もともとは父の影響で、テレビでスケートを観るのが好きだったのですが、そのうちアイスショーや試合を会場で生で観戦するようになり、気づけばスケートリンクでの体験教室に参加し、今では簡単なスピンや1回転ジャンプ、アイスダンスにも手を出しています。

YouTuberにはトロンボーンを吹きながらスケートをしている動画もあげています。

愛知のスケートリンクはもちろん旅先(公演地)のスケート場を訪れる事もあり、先日は岐阜県恵那市にある『クリスタルパーク恵那スケート場』で滑ってきました。アルペールビル五輪銀メダリストの伊藤みどりさんの時代からスケートが盛んな愛知にある中部フィルで、フィギュアスケートにまつわる公演が中部フィルで出来たら良いなあと密かに願っています。

先日中部フィル2026-2027年のシーズンラインナップが発表されました。シベリウスの交響曲第1番も2026年10月に予定されています。私はフィンランドに住んでいた事もあり、それ以来北欧と繋がりをもっているのでもとても楽しみです。ちなみに、フィンランドの野外リンクでも滑った事があります。

皆様には是非、中部フィルのホームページで販売が始まった秋山先生と中部フィルでの『シベリウス交響曲全集』をご自宅などで楽しみつつ、来年の演奏会を楽しみにして頂けたらと思います。

今年も中部フィルにご声援下さり、コンサートに足を運んで下さりありがとうございました。2026年、そして新シーズンもどうぞ宜しくお願い致します。皆様、良いお年をお迎え下さいませ。



2025年春、フィギュアスケートの発表会にて

NEWS

最新 CD 発売中!

2025年1月、惜しくもこの世を去った名匠・秋山和慶が2023年から2024年にかけて、中部フィルハーモニー交響楽団定期演奏会「北欧シリーズ」において指揮した、シベリウスの全交響曲他を収録。

秋山和慶 シベリウス交響曲全集 ~足掛け25年間育てた中部フィルとの最後の録音~



収録曲<5枚組CD>

- シベリウス：交響曲第1番～第7番
- シベリウス：ヴァイオリン協奏曲(独奏/北川千紗)
- グリーグ：ピアノ協奏曲(独奏/石井楓子)
- シベリウス：交響詩「フィンランディア」
- シベリウス：アンダンテ・フェスティヴァーヴォ

価格 8,000円(税込)



CDのお申し込みはこちら

編集後記

気づけばもう12月。今年もあっという間でした。来年は指揮者体制の一新や、25周年記念特別演奏会の開催など、楽団にとって大きな一年となりそうです。慌ただしい季節ではございますが、皆様もご自愛のうえ、温かく穏やかな新年をお迎えください。どうぞ良いお年を!

M.I

中部フィルハーモニー交響楽団

〒485-0041  
愛知県小牧市小牧 2-107 (市民会館内)  
TEL 0568-43-4333  
FAX 0568-43-4334  
http://chubu-phil.com  
2025.12 / Winter / no.49



中部フィルハーモニー交響楽団 会報誌

TOPICKS

中部フィルの新たな出発点へ - 1~3月公演

12月も半ばになり、2025年もあと数週間で終わりを迎えようとしています。思い返せば、中部フィルにとって2025年は変化の年でもありました。25年に亘り楽団を育ててくださった秋山芸術監督の訃報を受け、大きな軸を失った悲しみと喪失感がありましたが、お客様の温かいご声援もあり、中部フィルとしての歩みや成長を着実に重ねていくことができました。2026年は新たな船出の年として、今後の展望に是非ご注目下さい。

1月10日(土) 岐阜特別演奏会では、指揮=出口大地さんとともに新年の門出を祝うニューイヤーコンサート。ジュゼッペ・ジッポーニさんの圧倒的な技巧とロマンティックな音色で奏でられる、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は必聴です。

2月14日(土) 第102回定期演奏会では、箏曲奏者=別所知佳さんをお招きし、宮城道雄の作品を取り上げます。宮城道雄は、西洋音楽の要素を邦楽に導入することにより邦楽の活性化を図り、新しい音楽の形を追究し続けました。飯森範親の指揮で紡ぎ出される、オーケストラと箏の調和をお楽しみください。飯森舞さん作曲「交響曲第1番「YMOEUtopia」」の親子共演にもご注目!

2025年度シーズンの締めくくりとなる、3月27日(金) 第103回定期演奏会。“メンコン”といえメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲 短調が思い浮かびますが、もう一つの隠れた名曲、二短調があります。ヴァイオリン=福田廉之介さんの卓越した技術力と表現力で、メンデルスゾーンの深淵に迫ります。

個性豊かなプログラムで贈る“新しい”中部フィルを、是非会場でお楽しみください!

NPO 法人 中部フィルハーモニー交響楽団

〒485-0041  
愛知県小牧市小牧 2-107(市民会館内)  
TEL 0568-43-4333  
FAX 0568-43-4334  
URL https://www.chubu-phil.com



出口 大地



ジュゼッペ・ジッポーニ



飯森 範親



別所 知佳



太田 弦



福田 廉之介

次回演奏会の案内

■岐阜特別演奏会 ニューイヤーコンサート  
音楽の福袋第15弾! <シュトラウス一家の新年会!>

2026年1月10日(土)  
サラマンカホール  
開演 14:00 開場 13:15  
指揮/出口大地  
ヴァイオリン/ジュゼッペ・ジッポーニ\*

プログラム  
ロッシェニ：歌劇「泥棒かささぎ」序曲  
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35\*  
J.シュトラウス2世：ポルカ「雷鳴と稲妻」作品324  
J.シュトラウス2世：ワルツ「ウィーンの森の物語」作品325 ほか

チケット [全席指定]  
【事務局購入】  
プラチナ席：6,500円 / S席：5,500円 / A席：4,500円  
【WEB購入】  
プラチナ席：6,000円 / S席：5,000円 / A席：4,000円  
U-25：1,500円

お問合せ / 中部フィルハーモニー交響楽団 Tel 0568-43-4333



中部フィルオンライン  
チケットサイト

# 活動報告

## シンフォニック・アニメ ～ジブリがいっぱい！オーケストラ・パークII～



8月9日(土) 小牧市市民会館  
8月10日(日) クラギ文化ホール  
8月17日(日) 豊川市文化会館  
9月27日(土) 高山市民文化会館  
指揮/竹本泰蔵 ピアノ/ CHIAKi (ソロ・ピアニスト)

昨年度大好評を博した「シンフォニック・アニメ」公演が、今年は4公演に拡大し開催。「千と千尋の神隠し」や「となりのトトロ」など、ジブリ作品の名曲の数々をフル・オーケストラで奏でました。指揮＝竹本泰蔵さんの軽妙なトークも繰り広げられ、見て聴いて楽しい演奏会となりました。

## 0さいからの家族で楽しむクラシック・コンサート



9月6日(土) 守山文化小劇場  
9月7日(日) 味噌市民センター  
歌・司会/奥村育子  
演奏/中部フィル・プラス・アンサンブル

今年20回目を迎えた、0さいからの家族で楽しむクラシック・コンサート。リズムコーナー、音楽にあわせて「ウサギとかめ」の絵本読み聞かせコーナー、ゲストにオケ太郎とこまっきーが登場するなど楽しい企画がもりだくさん！子どもたちは奥村さんの美しい歌声や、金管楽器とドラムで奏でられる迫力ある演奏を興味津々に聴いてくれました。

## 愛知4大オーケストラ・フェスティバル2025



8月31日(日) 愛知県芸術劇場コンサートホール  
指揮/竹本泰蔵

愛知県を拠点に活動する4つのプロ・オーケストラが一堂に会する初の試み。中部フィルは竹本泰蔵さんの指揮で、ブラームスの交響曲第2番を演奏。丁寧に表情を創り込みながら、重厚なサウンドから輝かしいフィナーレまでブラームスの世界を体現。それぞれのオケの持ち味も素晴らしく、4つオケが協力し高め合うことができた、実りある演奏会となりました。

## 室内楽シリーズ Vol.4 「弦楽セレナーデ」



2025年9月19日(金)  
電気文化会館ザ・コンサートホール  
演奏/中部フィル弦楽器セクション

昨年度から新たな試みとしてスタートした「室内楽シリーズ」。コンサートマスター＝山口裕之さん率いる弦楽セクションのメンバーで、弦楽器の珠玉の名作を取り上げます。細部にまでこだわった綿密なリハーサルを経て、モーツァルトの華やかな響き、ドヴォルザークの抒情性を豊かに表現。弦楽器ならではの温かく豊潤な音色をお楽しみいただきました。

## Member's Story



ティンパニ  
小川 研 一 郎

Q 楽器を始めた理由は？

3歳からヴァイオリンとピアノを習い始めお稽古とじっとしているのが苦痛で6歳で辞めました。その後少年野球を始めるが万年補欠。小学4年で金管バンドクラブに入りパーカッションを始めました。

Q プロを目指したきっかけは？

母親がプロのオーケストラ奏者だったので、小学生の頃から演奏会には行っていました。何となく客席側ではなく舞台側に行ってみたく思っていたところ、母親に本格的にやってみたら？と背中を押されたのがきっかけです。

Q 音楽人生での転機や印象に残った事は？

往年のウィーンフィルのティンパニ奏者であった故ローラント・アルトマン氏との出会い。母校である東京音大にて4年間のレッスンを受ける機会に恵まれ、その後参加したパシフィック・ミュージック・フェスティバルでも同氏の指導を受け、後に小澤征爾音楽塾へ推薦して下さりそこでも指導を受けました。私の恩師です。

Q 音楽を通して得られたことは？

仲間。大学の同級生である指揮者の松井慶太氏が中部フィルを指揮してくれた時は音楽を続けてきて良かったと思える瞬間でした。名フィル音楽監督の川瀬賢太郎氏も大学の同級生です。

Q 今後の夢や目標は？

人生も後半戦。いくつ歳を取っても現役でいられるように、基礎練とヨガや筋トレなど身体づくりも続け、あわよくば巨匠と言われるようになりたいです。

## NEWS

### 藤岡幸夫芸術顧問(アーティストティック・アドバイザー) 就任のお知らせ

中部フィルハーモニー交響楽団は、芸術監督秋山和慶氏の逝去に伴い、その後任として、2026年4月より藤岡幸夫氏の芸術顧問(アーティストティック・アドバイザー)就任を決定いたしました。



11月12日(水)名古屋市内のホテルにて  
報道各社へ就任記者会見を実施

2026年4月から、中部フィルハーモニー交響楽団の芸術顧問(アーティストティック・アドバイザー)に就任します。秋山和慶氏が亡くなるまで務められていた後を継ぎ、重責を全うする所存です。中部フィルは昨年(2024年)日本オーケストラ連盟に正会員として加わった若いオーケストラです。このオーケストラの未来に向けて、真摯に関わってまいります。皆さまのご理解とご支援を、お願い申し上げます。



藤岡 幸夫

## 小牧市制70周年記念 第100回記念定期演奏会 NAGOYA シリーズ2 (追憶のアダージェット)



2025年11月9日(日) 愛知県芸術劇場コンサートホール  
指揮/大植英次 ヴァイオリン/北川千紗

記念すべき第100回を迎えた定期演奏会。北川千紗さんが奏でるコルンゴルトのヴァイオリン協奏曲は、映画音楽のようなスケール感とドラマチックさを併せ持つ素晴らしい演奏を披露。マーラーの交響曲第5番では、中部フィル初登壇となる大植英次さんがテンポ変化に富んだ指揮を繰り出します。トランペットの決然としたソロから始まり、弦楽とハープによる“亡き芸術監督に捧げる”美しいアダージェット、そして祝祭的なフィナーレ。節目の公演を経て、新境地への幕開けとなりました。